

全ト協
OCHIS

対策マニュアルを作成

感染予防を分かりやすく

全日本トラック協会 OCHIS、武田裕理事(坂本克己会長)とヘル長はこのほど、新型コロナウイルスの感染を予

防するマニュアルを作成した。ドライバー、運行管理者など職種別で行う

7. 運行中【ガイドライン(9)】

- 2名以上の従業員が同乗する場合は、マスク着用を徹底する
- 荷物の受け渡しや荷役の際には、マスクや手袋を着用する
- 荷物の受け渡しや荷物の積み卸しの際には、相手先との直接接触を減らすように努める
- 作業前後は車内の消毒に努める
- 高温・高湿度での荷役で、人と2m以上の距離を確保できる場合はマスクをはずす。マスク着用時は呼吸の妨がる作業を避け、長時間の着用を避け、適宜マスクをはずして休憩し、こまめに水分を補給する
- 乗降中に荷物・作業不良を認められた時は、運行管理者に連絡を入れ、運行管理者は乗降を中止させる
- 作業は1人で行う。複数で行う場合は持ち手を分けるなど距離をとる
- 共用のカートなど荷役機器を使った後は、手洗いをを行う

具体策を確認できる
よう工夫している

予防対策を、イラストを交えて分かりやすくまとめた。対策マニュアルは6月に改定したガイドライン(指針)をベースに、OCHISが全ト協から受託し、解説版と概要版を用意した。解説版は4部構成で、1部では新型コロナウイルスの基本的な知識と対処法を紹介した。2部は、職場で行う感染症対策と題し、経営者、総務・人事担当者、運行管理者、ドライバーの4職種に分け、実践すべき対策を一つ一つ確認できるように工夫した。例えば点検時、運行管理者とドライバーが適切な距離の確保、アクリル板などの設置と換気の徹底、朝夕2回の体温測定と結果報告など具体的に事例を示している。万が一、

感染者が発生した場合の対応も掲載した。OCHISの作本員子副理事長は「予防対策はそれぞれの立場で異なることを明確に示した。各社でマニュアルを活用してほしい」と呼び掛ける。全ト協は各都道府県ト協にマニュアルを200部ずつ配布する。(遠藤 仁志)